

会員の皆様へ
朝日町農業委員会の女性委員の
活動を紹介します！



志藤さん

小林さん

農業ファシリテーターの
スキルを活かして活躍！

山形県農業委員会
女性の会
からの

お知らせ

No.2

明日の活力になるような会を目指して！

発行：山形県農業委員会女性の会事務局
＜(一社)山形県農業会議＞
令和3年10月18日発行

山形県農業委員会女性の会では、女性委員の活動を紹介するお知らせを発行しています。
今回は、朝日町農業委員会の「夢を語る座談会」と「味噌づくり講習会」の取り組みについてご紹介します。

「北部地区の農業の未来を考え
楽しく夢を語る座談会」を開催



そのアイデアいいね！



笑顔！

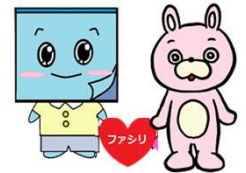
笑顔！



↑会長からのご挨拶

←テーマについて
全員で考えて、
意見の整理を行います

朝日町農林振興課・農業委員会では山形県農業会議の伴走支援を受け、令和3年9月16日(木)に、「北部地区農業の未来を考え楽しく夢を語る座談会」を開催しました。この座談会は、同地区の農業者が人と農地の課題を話し合う前に、夢や思いを語り合う場として開催され、農業委員・推進委員・若手や女性農業者など24名が参加しました。

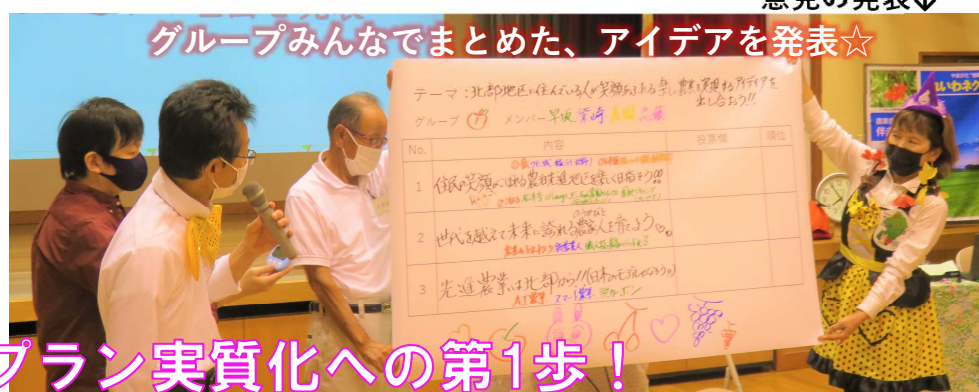


朝日町女性委員の志藤さんと小林さんは、県農業会議が開催した農業ファシリテーター養成研修会に参加し、資格を取得。座談会では、進行役の農業ファシリテーター(農業会議職員)と一緒に、「参加者全員が発言できる合意形成型の座談会」をサポートしました。

グループみんなで
意見の発表↓



農業委員・推進委員・若手農業者・
女性農業者・事務局など
みんなで話し合いました！



グループみんなでまとめた、アイデアを発表☆

人・農地プラン実質化への第1歩！

遊休農地や休耕田で栽培した大豆を使って「味噌づくり講座」を開催



発案者の高橋さん

昔ながらの製法で
優しい自然な味を伝える



今年のできはどうか？

朝日町農業委員会では、毎年、女性農業委員による味噌作り講習会を開催しています。(令和2年度は令和3年1月15日と18日に実施)この講座は、女性委員の高橋道子さんが発案し講師も務めており、平成29年から開催しています。味噌づくりの原料となる大豆は、遊休農地や休耕田で耕作されたものを使っており、遊休農地の利用促進PRや女性農業委員(活動)を身近に感じてもらう良い機会となっています。

今回は、町民18名が参加しました。皆さん、真剣な表情で作業をしていましたが、時折、笑顔と笑い声が会場を包み込み、楽しい雰囲気の講座となりました。

参加者は「自分で仕込むようになってから、みそ汁が好きになった。出来上がる秋が楽しみ」と話してくれました。



1日目は事前に準備
水に浸した米を使って米麴を作成

2日目は味噌づくり

自作の米麴に塩とふかした大豆を加えペースト状に！



塩を振ったオケに入れ、
各自が11.5キロを持ち帰り
秋まで熟成させ完成させます

↑男性委員もお手伝い

県内女性の会会員の皆様へ、情報発信したい女性委員の取り組みがございましたら、ぜひ、女性の会事務局へご連絡ください。

山形県農業委員会女性の会は次のステージへ！

山形県は全市町村で女性委員が登用されました！

山形県の女性委員(農業委員・推進委員)は、令和3年9月現在、72名です。

令和2年12月25日に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画」では、成果目標として、「農業委員会に占める女性農業委員の割合を早期20%、2025年までに30%を目指す」としています。

山形県の女性農業委員の割合は、現在12.9%です。

女性委員の仲間を増やし、山形県の女性委員の輪を一緒につくっていきましょう！